

コード	名 称		区分	コード	名 称	
事業名	543	都市計画街路維持管理経費(街路樹)	会計	01	一般会計	
			款	08	土木費	
			項	04	都市計画費	
			目	01	都市計画総務費	
基本 施策	27	秩序の中にもぎわいのある都市空間をつくる	細目	105	都市計画街路維持管理経費	
			細々目	01	都市計画街路維持管理経費	
行革大綱の重点事項番号			4			
担当部署	コード	190700		担当者 氏名	松尾 卓哉	
	名称	産業建設部 都市計画課			連絡先	43 - 2315 (内線) 263

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	街路樹維持管理		※対象件数	
成果(どうする)	整枝、剪定、消毒を行うことで、景観樹として街なかの環境づくりに貢献する。 付近住民、運転者、通行人、外来者に好感を与える。また、視界が確保でき、交通安全に資することができる。			
根拠法令・要綱等				
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度		
H21 事業 内容	街路樹維持管理・・・26路線で実施			
社会情勢 の変化等				

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	直営
委託先	民間業者
2 配置人員	0人
3 年間運営費	19,597 千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			街路樹の維持管理業務	箇所	目標 26 実績 26	目標 26 実績 26

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				街路樹維持管理を行った路線	全路線数に対し維持管理を行った路線数の比率	%	目標 100 実績 100

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)	19,672	18,877	15,825	19,000				
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
	一般財源	19,672	18,877	15,825	19,000			
事業投入人件費(B)	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
フルコスト(A)+(B)	20,392	19,597	16,545	19,720				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
有効性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
達成度	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効率性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
改善策	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
昨年度 の取組状況	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
昨年度の 取組状況	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
	昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
	市道管理と街路樹管理の部署が異なり、住民に混乱を与えたり、災害時の対応がスムーズに行かないことが危惧される。また、大木化が進むため、維持管理費が増大、予算確保を要する。	
改善策	【状況】	計画のとおり進んでいる
	【詳細】	
昨年度の 取組状況	街路樹の整枝、剪定、除草等を26路線において適切に行った。	

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	清水 仁敏	
事業の方向性	【方向性】	現状維持
	【理由】	整枝、剪定、消毒等を適切に行い、景観樹として街なかの環境づくりに貢献する。 付近住民、運転者、通行人等に好感を与える。また、視界が確保でき、交通安全に資することができる。
現時点における課題、その他	市道管理と街路樹管理の部署が異なり、住民に混乱を与えたり、災害時の対応がスムーズに行かないことが危惧される。また、年々維持管理費の予算確保が難しいため、樹木の生育状況等について、維持管理の範囲を的確に把握し、実施する必要がある。	
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	市道管理部局と十分調整を行い、連携の強化を図る。維持管理業務を発注する際は、現地確認を行い樹木の生育状況、草の繁茂状況を確認し作業範囲を決定する。	